



厚生労働省
許可済み

フジテレビ「とくダネ!」「バイキング」、NHK「おはよう日本」、
TBSテレビ「あさちゃん!」、初めてのたまごクラブ('20夏・秋)、
日経新聞や産経新聞等、他多数のネットニュースで紹介されました。

席を譲ってもらう側から声をかけることは「**勇気**」が必要。
座っている側から譲るために声をかけることも「**勇気**」が必要。
その「**勇気**」を出しやすくする何か
あったらいいなと思い作りました。

妻の妊娠中の経験をきっかけに、席ゆずりますマークを考案。
個人かつ非営利での活動のため大変ですが、優しい世の中の
実現に向けて、育児と並行して全力で取り組んでおります。



椎野 祐輔





妊婦だった妻に
優先席を譲ってくれたのは
席を必要としているはずの
“おばあちゃん”でした

他の人が譲ってくれば
おばあちゃんに席を
譲らせずに済んだのに

そもそも、こちらから他の人に
声をかければよかったのかな

いや、流石にそんな勇気はだせない……

でも座る側から
声をかけるのにも
勇気が必要なんだよな

席を譲ってもらう側から声をかけることは「**勇気**」が必要。

座っている側から譲るために声をかけることも「**勇気**」が必要。

その「**勇気**」を出しやすくする何かがあったらいいなと思い作りました。

「マタニティマークを 付けたくない……」

と思う妊婦さんが多いという話をよく聞きます。
妊婦さんに対して嫌がらせをする人やよく思わ
ない人もいるようで、マタニティマークが攻撃
の目印になってしまう場合があるそうです。

産婦人科の先生から

「危ないから付けないほうがいい」

と言われた人もいますそうです。



実際に私の妻からも

「あまり優先席に座りたくない、
周りの人に嫌な目で見られるから」

と言われたことがあり、その時はとても驚きました。



なので「席ゆずりますマーク」を
つけている人が周りに増えれば、
そう思う人も減るんじゃないかと思
いました。

席ゆずりますマークの効果



- ✓ 席の譲り合いが活性化する
- ✓ 妊婦さんをはじめとした席を必要としている方が安心できる空間が増える

実際にいただいた声

活動開始からまだ2ヶ月ですが、8000人の方にご賛同いただきました。
また、メッセージをくださる方もたくさんいらっしゃいました。

このマークをつけることで「どうぞ」のひとことを言い出しやすくなりました。



私は妊婦時代にたくさんの方に席を譲っていただきました。今度は私がお返しする番です。



座った時、周囲に席を必要としている人がいないか気にするようになりました。



このマークがなくても、お互い頼り頼られる社会になるといいですね。



席ゆずりますマークの目的は 「みんなの優しさの見える化・証明」です。

優しさは**行動**することで初めて伝わるものです。しかし、優しさを持っていても行動する**勇気**が出ない人はたくさんいます。このマークを持つことで、優しさを表に出すことができ、さらに自ら行動する勇気を出しやすくなります。

このマークが普及したらそれは、ほとんどの人が**優しい心**を持っていることの証明となります。譲り合いが当たり前になった世の中、優しさが増えた世の中になっているはずです。その時にはもう、マークは必要なくなるでしょう。

これが、このマークの最終目的です。



目的を実現するために、席ゆずりますマークを絶対に普及させたいです。



妻の妊娠中の経験をきっかけに「席ゆずりますマーク」を考案。2019年12月に長男が生まれ、現在1年間の育児休暇中。個人かつ非営利での活動のため大変ですが、優しい世の中の実現に向け、育児と並行して全力で取り組んでおります。

椎野 祐輔